

刊夕日三廿月三



定額 一ヶ月五拾圓 郵費五圓  
廣告費 五拾圓 十二字一圓 一行五拾圓  
日曜 祭日の翌日 休刊  
發行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日印刷株式會社

### 自行と化他 (一)

眞繼 雲山

佛敎のはたらきを二つに大別すると、第一は消極的に、みづから悟りを開くことであつて、これを自利といふ。第二は積極的に自分の悟りを押しひろめて他を悟らせることであつてこれを利他といひ、約して自利自他もしくは自行化他といふ。第一は解脱であり、第二はヨリよき社會の建設である。佛敎の目的はこの二者の範圍を出づるものではない。

### 高月會 三月例会 (六)

蛙の子

物の芽を纏つてお玉泳ぎけり  
蛙の子日増に育つうらこかな  
草蒔えて水のぬくみや蛙の子  
沼の水縁になりて蚪斗かな  
蛙子をすくつて遊ぶひなの子ら  
濠の藻に見えつかくれつお玉かな

猫の戀

軒先に影曳く月やうかれ猫  
琴の音のときれを鳴くや猫の戀  
失戀の猫や茅屋廻りつゝ

秀峰 鐘樓 城山 紅果 閑月 耕影 一影 閑月

もつて菩薩なりといふのである。

小乘羅漢は、自分だけが先づ悟りの彼岸に渡らうといふのであり、大乘菩薩は先づ大衆をして彼岸に渡らしめ、然る後みづから渡らうといふのであるから、未度の衆生一人にてもある間は、菩薩は佛と成ることは出来ぬ。況んや現代の如き迷妄の凡夫で充ち満ちてゐる世の中において、觀音勢至、地藏などいふもろくの菩薩方は、まづ當分の間は、先づ以て佛と成り給ふ見込みはない。左れど

### 文藝募集

斯かるば薩衆はもとく自身一身の名譽利益などいふ低級な慾望は微塵も御持ちになつてゐないのであるから、名はば薩であるといへども、その體は佛である。何れの宗旨と申しても、言葉はいろ／＼に相違してゐるが、その説くところは上の自行化他の一面を出づるものではない。先づ釋尊の入山は自行であり、その出山は化他である。上を向いて悟りを求むるといふ上求は提は自行であり、下を向いて衆生を化益するといふ下化衆生は化他である。

### 皆三二

自動車は最新の三二二型!!!  
車体番號は福島三二二番!!!  
そして電話は三二二番へ

此度皆様の御愛顧と御後援を仰ぎタクシー部をもうけました。處女營業の事として地方皆様の御愛顧を得て進みたく従業員はへびを盡してサーピスあるのみです。車は御氣に召す様にと三二二年初春のトップを切つた最新型を並びましたから是非お召し下さい。

一九三二年と車体番號に因み  
三二番の電話を御利用下さい

平町白銀町 加藤丈夫營業所  
不二タクシー  
主任 菅本 昇

### 謹告

今般田町火災の際に類焼致し候爲め左記に於て一層の親切丁寧を旨として營業致す可く候間何卒御引立を賜り度御願ひ申し上げます

### 假營業所

平町町丸新デパート内  
根本時計店

### 生徒募集

- ◆卒業は一ケ年
- ◆申込は四月八日迄
- ◆入學は無試験

平南町

平産看護婦學校

校長 清野 キヨ  
電話三〇七番

### ◎火事は油断から...

時局重大の秋です、絶対火事を起さぬセロン劑を塗る事に致しませう

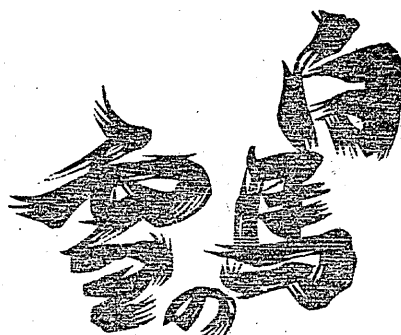
セロン防火劑東北發賣元

東北セロン商會

平町白銀町(電三九三)

### 優等賞入選

酒銘醇芳



キユノバクハ

去る十八日より二十日迄平稅務署に於て開催された石城酒造組合主催第十三回清酒酒會に於て三點とも最優等賞を得たり

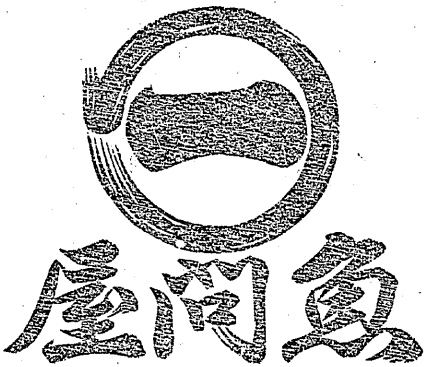
平町二丁目一

白馬の雪營業所

辰の口本家 松本徳一  
電話一五四六 營業所  
二八五 本店

### ■産名城磐■

らか鹽と節鯉



店理代平命生本日大最優最  
榮盛賀志  
番一二三電 目丁四平

☒ 配達敏速 ☒

### 平消防組の 永年勤続者

#### 数の多いのでは 平署管内で有數

平消防組員百七十四名中の永年勤続者を最近平署で調査したところによると廿年以上勤続者が一名居る外廿年以上勤続者が二名、廿五年未滿が廿名、十五年未滿が廿五名、十年未滿は五十九名、五年未滿卅名、二年未滿は廿名で平均五年から十五年の勤続者が多く管内消防組中ても勤続者の多い事では有數な方であると

#### 田町區長 石坂氏に決定

昨日の平町會で第四區(田町)區長は石坂詮太郎氏にまた同區長代理には島田藤吉氏廿區(堤ノ内)區長代理は山本龍次氏に決定を見た

#### 肥料共同購入 飯野村協議

石城郡飯野村農會では本日午後一時より役場會議室に於いて總代會を開き今春期使用肥料の共同購入に就いて協議を行つた

### 鎌田の縣立治療院 娼妓檢診所に變更

平町鎌田遊廓縣立治療院は經費節減のため昭和六年度即ち来る卅一年限りで七年度からこれを廢止することに縣會で決定してゐたが過般開かれた縣參事會において地元貸座敷營業組合に無償交付し娼妓檢診所にあらざるゝこととなり今回それぞれ指令を發した

### 収入役

#### 大河原氏再選

平町収入役選舉は昨日の平町會に於て満場一致大河原金之助氏再選と決定した

### 伯國渡航の 御參考迄に

ブラジル・サンパウロ  
佐藤 武雄

伯國に於ける實狀は後便にて申上げる事に致しまして後進者の爲めに參考とし郷里出發より上陸までの心附きの點を申し上げます、海外興業會社のハンブレット中絹物は一切持参せざる様注意が有りますが、現在使用して居りました品は絹で

町)區長は石坂詮太郎氏にまた同區長代理には島田藤吉氏廿區(堤ノ内)區長代理は山本龍次氏に決定を見た

### 住宅組合 低資申請

平町陸住宅組合は昭和四年創立當時より縣當局に組合低利資金として八千圓の貸與を前後三回申請したが連帶責任者を有しなかつた爲め受理に致らなかつたのでしても不体裁なる服装にては伯國人の氣分を悪くする故、労働服にても宜しいがネクタイを付け帽子を冠する事、船内に於て甲板を散歩する場合にも不体裁なる服装は禁じて居る位であります、尙器物ですが伯國は瀬戸物や塗物の類は非常に高價で有りますから家庭で使用する位は今迄使用せし物を持参すると便利で、荷造り都合上少し位度量が多くと運賃も僅少で有ります

#### 大塚の 學生靴!!!

耐久新製品  
編上靴 六・〇〇  
半靴 五・〇〇

#### 大塚支製靴部

電話七七番

#### 市原醫院

平町 田町  
電話一四四番

本年は左記組合員が連帶責任者となつて町役場を経て縣へ申請する事になつた

田村五郎 荒川安積 山崎三良 西山量太郎 野崎喜八郎 三輪元吉 岡村俊太郎 鈴木丑松

#### 高橋時計店

貴金屬  
時計及眼鏡類  
懷中電燈  
キミガヨ電氣  
ランプ特約店

平町橋小橋路

#### 木村外科醫院

平町五丁目橋際  
電話三〇九

#### 看護婦急派の求めに應じます

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 募一二勇士遺族の 弔慰金

嗚呼忠勇無比の三勇士何ぞ其の壯烈なりしぞ鬼神も爲めに慟哭せむ、實に振古未曾有驚天動地の偉業にして人生を超越し洋の東西に冠絶す、古今英雄多しと雖も蓋し三勇士に如くものなからん宜なる哉其の心精英雄以上の英雄なり、今や同胞國を擧げて戦に赴かんとする誰か彼の三勇士に感激せざるものあらむ殊に目下外交は危機に瀕し東亞の風雲彌々急ならむとする秋、内は國民の士氣を鼓舞し外は凶家の威武を宣揚する誠三勇士に負ふ處甚だ大なるを痛感するなり、名將曰く「吾が皇國も三勇士ありて亡びず」と真に至言にして正に彼を弔ふ最大最高の弔辭なり、然り彼等三勇士こそ日本軍人の龜鑑にして大和民族發展の尊き犧牲者なり、吾人は彼等殉國の忠誠を永遠に紀念し併せて千古不磨の英靈を弔はん爲め彼の三勇士遺族へ薄志を饒け以て聊か勇士の靈を慰んとす、愛國の士奮つて賛せられんことを

主唱 阿部政右衛門  
後援 常磐毎日新聞社

一、弔慰金一人金拾錢均一に願ひます  
二、右弔慰金は平町前丸ッ阿部石炭店又は常磐毎日新聞社に御届を乞ふ  
三、寄附者芳名を常磐毎日新聞紙上に掲載領收書に代ふ

#### 寄附者芳名

南町 馬上 義久  
鎌田町 佐藤 惣次郎  
向鎌田 鈴木 宗平  
飯野村 白土 伊藤 唯一  
七間町 羽田 金之助  
向鎌田 菅野 政次  
關ノ上 菅野 一二  
大町 大谷 長太郎  
六丁目 馬場 市五郎  
四間町 小野 寅吉  
同 五十嵐 重作  
古鍛冶町 蓬田 七

#### 第十三回分

向鎌田 高田 稻藏  
材木町 赤石 津勇  
夏井村 矢吹 忠一  
關ノ上 永井 七郎  
六丁目 東海林 宇平  
舊城跡 田島 未太郎  
同 猪狩 忠吉  
上荒川村 鈴木 新作  
六丁目 前田 豊吉  
鍛冶町 内藤 豊吉  
仲間町 太田 雅一  
飯野村 谷川 瀨村 平宮正

平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七番

### 偽造通帳を種に

## 朝鮮人が詐欺

### 五十銭の預金を八十圓と改ざん

朝鮮慶尚南道東華郡湊山洞生れ住所不定人參行商富永徳太郎事張甲龍(三)は昨年十二月茨城縣那珂郡湊町郵便局に五十銭の預金をなした通帳を八十圓と偽造し同人の知人たる石城郡磐崎村字下湯長屋の青物商鷺尾壬良方を尋ね廿圓程資金が入用なのが茨城縣で八十圓貯金した爲め急用に間に合はぬと稱して偽造通帳を担保として廿圓を借受けて立去つたが其後鷺尾方では妻のタマ(三)が湯本局で現金を引出さんとして偽造通帳と解つたので驚いて平署に取押方を願出た

## 植田消防 軍隊的 教練執行

郡南植田町方部の消防幹部會は廿一日午前九時より植田小學校に開かれたが當日は磐城小學校配屬將校八谷少佐指揮のもとに消防手の軍隊的教練を一時間に亘つて執行後午前十一時より同町菊田座にて左記の如き協議を爲した

△紀律厳守に關する件△  
組員の教養に關する件△

火災豫防に關する件△  
機器整備に關する件△  
應急準備に關する件△  
利調査に關する件△  
火災豫防に關する件△  
組員の親睦に關する件

## 出所不明の 村田銃で自殺

### 本年廿五歳の若者 平署事態を重大視

石城郡鹿島村大字藏持農坂本重二方雇人同村生れ坂本某(三)は九才の時兩親に別れて以來叔父の坂本方に雇はれて來つたものであるが昨日午前十一時半頃主家に於て村田銃を喉に當て發砲貫通血沙に染つて絶命した自殺の原因は目下平署に於て取調中であるが村田銃の出所が明らかでない處から同署にては時節柄事態を重大視して居る

## 逃走者搜索

### 内郷の賭博

石城郡内郷村字宮澤飲食店小林長松(三)方で昨日午後五時頃同村初め同村吉田精三郎(三)及び小林長吉(三)外數名が花札賭博を開帳中駐在所員に踏込まれた爲め前記三名は取押へられたが此外逃走せる者を目下搜索中

## 偽刑事 強盜を働く

石城郡湯本町字青葉下居住古澤長吉(三)は廿日午後九時頃同町三函地内を通行中前方より無燈火自轉車にて

事業上の不備を 座談的に打合せ

石城郡上小川養蠶實行組各では廿九日小學校に委員會を開き昨年度に於ける組合員の事業成績上の不備な點に付き座談的な打合せ會を行ふ豫定である

菅原書記榮轉 平檢 事局監督書記菅原直道氏は今回青森地方檢事局監督書記に榮轉不日赴任の筈

## 鮮人に賣る

石城郡内郷村字宮澤居住宮城縣生れ無職福地正守(三)は去る十日好間村字北好間の小田炭礦坑夫山崎金次郎方で時價十五圓の金剛時計を窃取し廿日午後三時頃平

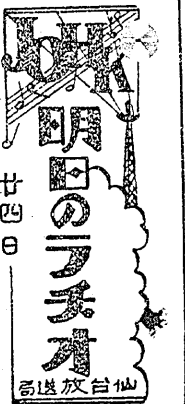
## 空腹の青年 平驛に行倒る

### 徒歩で郷里へ歸る途中

昨夜九時頃平驛待合室で一名の青年が苦悶中を驛員が発見應急手当を施したが同人は石川郡小鹽江村字小念生れの遠藤慶徳(三)として東京へ出稼中神経痛の爲め失

## 劇團に加はり 相變らず窃盜

伊達郡保原町生れ住所不定一村二郎(三)は昨年八月頃内郷村に入り込み十數件の窃盜を働いて平署に檢舉されたが未成年者の爲め釋放



今晩は北風 北西の風小雨 模様の次第に回復

## 今晩の部

後六、〇〇 子供の時間童話劇「平家盛物語」廣島師範附屬小學校児童  
後七、三〇 「ゲラのタゲ」文学博士成瀬清(三)講演「ドイツ大使ドクトルフロレンツエ(朗讀)ドクトルエルウインマイエンブルグ(解説)フアウスト慶大教授茅野蕭々(ラヂオドラマ)フアウスト書齋

の場)友田恭助外  
後九、三〇 奉天より  
後九、四〇 全國ニュース  
氣象通報 番組豫告

## 明日の部

前九、三〇 料理献立「ドーナツケーキ」松本良雄  
前一〇、三〇 家庭講座「色彩本位の盛花賀習」引地光露  
後一〇、〇〇 獨唱と管絃樂關種子 東京ラヂオオーケストラ

内でも窃盜行為あり本日同署に押送目下取調中である

## 磐崎紅白試合

石城郡磐崎村武徳會分區では來月三日小學校に於いて總會

## 川崎小島君の

ラヂオ放送を聴きて  
□いたつきのつれづれに吾が聞きて居し君がお伽に子等も寄り來ぬ  
□身振りよく談るふ君とまなかひに相見る如しスピカーの前  
—高久晚霞生—

## 平職業紹介所報告

を催催役員及び豫算の協議後會員の劍道弓道の紅白試合を舉行する筈である

求人部の部  
△探炭夫 四十以下 日給一圓位(湯本町某炭礦)  
△女中 十七八才 尋卒 仕着共五六圓(平某教員)

誠に便利な 金額の多少に不拘調 製致します

平町南町 鶏卵商 鳥肉 菊

商 品 券 下 用 利 御 卒 何 番 六 八 二 話 電

△自動車助手 十六才 高卒 給料面談(鹿島村某)  
△鐵工見習 十五才 高卒 給料面談(内郷村某)  
△雜夫 五十才 高卒 給料面談(平町某)  
△女中 廿才 尋卒 給料面談(湯本町某)  
△仕上工見習 十六才 高卒 給料面談(内郷村某)





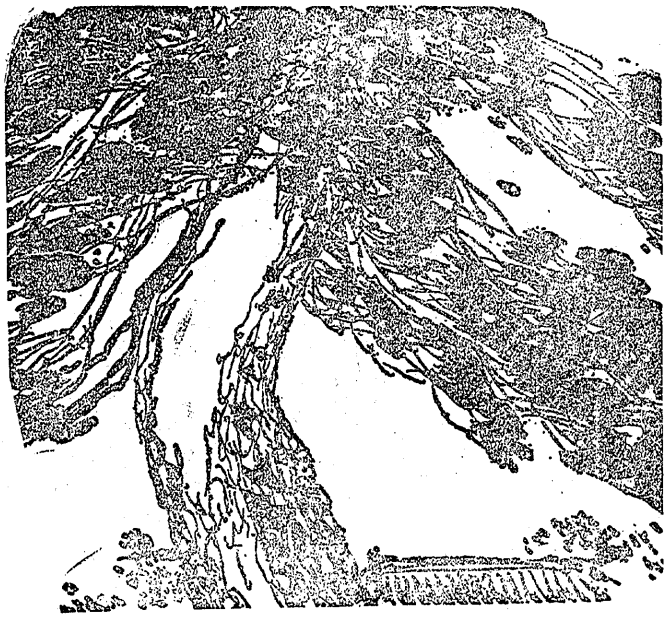
【禁轉載上演及映畫】

悟道軒 圓玉 演  
近藤 紫雲 畫

〔第八席〕

神影流の達人秋山要介 (8)

要介江戸に出る  
林藏は面を冠り、胴を着け、小手を差し、竹刀を取り、秋山要介を見てゐたが、林「先生、お前さんも道具をお着けなさい」  
要「此儘で宜しい、貴殿なぞを相手にいたすに道具を着ける必要はあるまい、警へて申さば、貴様は兎で、俺は獅子だ」  
林「大層な事を云ひますね、さア先の剣ね出す處を見せて遣る、ドンナものだ」  
と正面から打込んだ、要介は鐵扇にてサラリと竹刀を拂ひ



林「いめゑました、これでも打てねえか」  
要「オット危ない、確かり打つて来い、せめて獅子の髯にでもその竹刀を觸れるやうにいたせ、オット其處には誰も居らんぞ、コレ兎どうした」  
ピシリー、小手を打つた林藏は竹刀を落され、この畜生めと飛びつくをバツト體を變じた、要介はトントんと林藏が前へ出るをポーンと腰を突いた、バツリ

くねえ、今日から稽古を受けて遣るぞ、有難く思へ」  
要「此奴は面白い奴だ」と興味を有つて要介が劍術を教へた、此處に二年居る内に林藏神影流の免許を得て今牛若と云はれる程斯道に達した、親父磯右衛門の跡を嗣いだ、これは目

明しはいたさぬが俠客として次第々々に繩張を殖やし未だ二十歳の若者ではあるが子分の二百人もあり、繩張りも十箇所もあり、關東屈指の俠客となつた、秋山は林藏に大事にされるからといつて、こんな所に幾年居ればとて名を爲すことは出来な、そこで江戸に出て來ました。  
本所錦絲堀に居る徳川の御家人中野藤十郎といふ者は亡父の門人であるから、それへ便つて來て、己の意嚮を告げると  
藤「承知いたしました、先

紙入を投出した  
藤「これには何程ございませぬか」  
要「遣ひ残りが一兩二分ある」  
藤「これあ呆れた、一兩二分では先生物置も建ちませぬ」  
要「さうな、俺は家を建てた事がいゆえ何れほどあれば道場を出せるか、それは判らぬ、最も五十兩ほど持つてゐたが川越領赤尾村から此方へ參る途中、遊女屋にのみ泊り豪遊をいたしたから太分金も無くなつた然し貴様に萬事世話になるのも氣の毒と存じそれだけは殘して置いた」  
藤「兎も角もお預かり申して置きます」  
要「何分とも力を添へてくれ、世に出れば必ずその報いはいたす」  
無頓着な秋山として贅澤な事を云つて此處に滞在してゐる、一月ばかり経つての事でした

要「藤十郎まだ道場は出来ぬか」  
藤「どうも場所の氣に叶つた所がございませぬ」  
要「無いといふはせんぞ、江戸は四里四方ある、其廣い土地にて道場を建てる場所はありさうなものだ、日本橋の大通りがよからうか繁華な土地とて、彼す處へ道場を出せば人の目に着く地所も買つてしまへ」  
藤「先生は冗談者ですナ、一兩二分で地所を買ひ、その上道場を建てる事は出来ませぬ」

要「日本橋の大通りはそんなに高價か」  
藤「一兩二分では三尺の土地も買へませぬ」  
要「それは不埒千萬、先達て洲崎の辨財天に參詣に行つた時に海に面した土地が大分空いて居つた杭の間からチヨロ／＼蟹が這つて居つたが」  
藤「あの場所ならば安うございませぬ、上汐になると水が冠つて無くなりませぬ」  
要「そんな地所は叶わぬ」  
藤「根岸に空家があります、それへ手入れをして道場にいたしませう」  
要「根岸と申すと、何の邊か」  
藤「上野の北でございませぬ、初音の里と云つて閑静な所で護院殿の森には梟が棲んでゐまして狸などが居ります」  
要「それはちと道場を開くには場所が悪い」  
藤「その代り店賃は安うございませぬ」

**梅毒**  
淋病 皮膚病 婦人病  
門專 傷性病  
十二指

**林病**  
傷性病 腸胃病  
門專 傷性病  
十二指

**松村 院醫科**  
〇七一話電

**高久病院**  
院長 醫學士 高久 忠  
副院長 新潟醫學士 赤羽 清  
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄  
内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科  
平町田町 電話五一三番

**中村齒科醫院**  
東京齒科醫學士 中村 文一

**平町鍛冶町吉田屋吳服店西隣り**  
**齒科**  
口腔外科 齒槽膿漏科  
治療科 補綴科 齒列矯正科  
◇受付は午前八時より午後八時まで  
但し急患者は此の限りにあらず

東京市本郷駒込追分町  
(茶代不用) 上野驛ヨリ(自動車約五分  
電車約十五分)  
**駒込 達 館**  
電話(小石川)三一六五番  
一泊金一圓八十錢(食附但々二食)

セメント 壁用材料  
コールタール  
ペンキ塗料  
板ガラス  
磐城セメント株式會社  
代理店 **西村屋藥舖**  
平町二丁目電三